

# 多高通信

第179号 令和2年 8月28日発行



さどく ゆたかに たくましく  
宮城県多賀城高等学校

## 総体代替大会 結果報告

3年生の最後の大会となる総体の代替大会や選手権大会が行われました。3年生から集めた大会の感想や報告、後輩に向けたメッセージを、2号にわたって紹介していきます。

### ☆陸上競技部☆

#### ■3年2組 小針 颯太(中野中出身)

8月9日から12日にかけて、高校総体代替大会が行われました。炎天下の4日間となり、本当に大変でした。新型コロナウイルスの影響により、今年初めての大会がこの大会でした。久しぶりの大会であると同時に最後の大会となってしまうこの大会で、とても緊張して思うようなパフォーマンスをすることができませんでした。しかし、最後まで楽しむことができたので悔いはありません。後輩たちには、高い目標を持って、日々の努力を怠らず、楽しく部活動を行ってほしいと思います。

### ☆柔道部☆

#### ■部長 3年7組 西塚大翔(高砂中出身)

8月1日に高総体の代替大会がありました。1年生のときはほとんど勝つことができませんでしたが、練習を積んでいくうちにだんだんと勝てる試合も増え、この代替大会ではベスト8で終わることができました。目標であった県3位に届きませんでした。今までの練習の成果を出し切ることができませんでした。

私が2年生のとき、新入部員が入って来ず、部員が1人となってしまい苦しい思いをしました。しかし、他校へ練習に行き、練習の密度を高めました。今年は1年生が2人入ってきましたが、後輩には部員不足という不利な状況をはねのけ、自分の思いを引き継ぎ、好成績を残してほしいです。



### ☆男子バドミントン部☆

#### ■キャプテン 3年1組 菅野陽介(塩竈一中出身)

代替大会という形ではありましたが、この大会を開催して頂けたことに感謝するとともに、出場できたことを誇りに思います。入学当初は不安でいっぱいでしたが、周囲の仲間を支えられここまで部活を続けることができました。毎日仲間と汗を流した日々はかけがえのない宝物です。この先どんな困難があっても、この部活での日々を思い出せばきっと乗り越えられる！そう信じています。

1・2年生には、自分たちの成績を越えてもらうことはもちろん、周囲への感謝の気持ちを忘れないで生活して欲しいです。生きるということは他者とのかわり自分の傍にいてくれる人、家族や友人先生などへの感謝を胸に頑張ってください。あと、勉強は今のうちからしておくことをオススメします。

### ☆女子バドミントン部☆

#### ■部長 3年2組 菅野あやな(中野中出身)

8月10日・11日に総体代替大会が行われました。3年生の参加は各自で判断するという形でしたが、私は、部活動引退のけじめをつけるために参加することに決めました。課外講習や受験勉強と並行していたため練習に十分な時間を割けませんでした。自分で時間を作り工夫して両立しました。そんな中迎えた大会本番では思うようなプレーができず、ペアにも迷惑をかけてしまうものとなってしまいました。私の中では悔いが残る大会となってしまいました。3年間で培った力や仲間との絆はそれ以上のものであったと思います。



近くで支えてくれた後輩たち、時に優しく、時に厳しく接してくれた先輩方、3年間一緒に頑張った3年生、技術や礼儀を教えて下さったり練習試合や大会などいろいろなどころに連れて行って下さったりした顧問の先生方、本当にありがとうございました。

### ☆ソフトボール部☆

#### ■部長・キャプテン 3年1組 竹下亜希

私たちソフトボール部は7月18日に3年生最後となる大会に出場してきました。大会が行われない競技もある中で、大好きなこの11人のメンバーと試合に臨めたことが何よりもうれしく、最後に素晴らしい思い出を作

ることができました。助っ人を借りていたため約1か月間だけのチームでしたが、それを感じさせないほどの団結力だったと思いますし、その中でキャプテンを務めることができたことを誇りに思います。初心者だった私たち3年生に1から指導していただいた顧問の先生や、応援して下さいた皆さんの方には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

## 軽音楽部・美術部

### WEB SOUBUN 出展

高知県で行われる予定だった全国総合文化祭(2020 こうち総文)が新型コロナウイルスの影響でWEB SOUBUNとしてWeb上で開催となり、本校から、軽音楽部3年生バンド・Innocent Geeksのオリジナル曲「白夜」睨にての2曲、美術部3年生・島田佳世子(多賀城中出身)さんの作品「夢の名残」が出展されています。いずれも、昨年度に県での選考を勝ち抜き、今夏に高知で披露される予定だった作品です。



WEB SOUBUN トップページ

WEB SOUBUNのホームページでは、本校の作品以外にも全国の高校生による作品を見ることができるようになっています。ぜひ、全国の高校生たちの熱い作品をご覧ください。

## 科学部 浦戸諸島現地踏査

#### ■1年6組 渡邊 廉(玉川中出身)

私たち科学部「メダカ班」のメンバー3人と災害科学科2年生の課題研究「地質班」の4人は、8月2日に塩竈市浦戸諸島に渡り、現地踏査を行いました。私たち「メダカ班」は、寒風沢島及び野々島においてメダカの生息調査を、課題研究「地質班」は桂島において地質の把握とデータ測定を行いました。



「メダカ班」がはじめに訪れた寒風沢島では、島の奥部にある田んぼの一角でメダカの生息を確認しました。梅雨明け初日の晴天の下、風景画のようなどかな景色の中でメダカを追いかけ、大いに夏を感じることができました。その後、渡船を使って次の目的地である野々島に渡り、昨年にメダカの生息が確認されている海辺の細い水路でメダカを確認し、生体を採取しました。水は少し濁っていましたが、メダカが生きていくのに支障が無く、数多くのメダカの生息が確認できました。

### 多賀城市八幡上二地区

## 津波高標識設置活動

8月5日、多賀城市八幡上二地区において津波高標識設置活動を行いました。八幡上二地区での活動は今回で3回目となり、当日は八幡上二地区の区長さん、副区長さん、多賀城市交通防災課より2名、本校防災委員生徒3名が参加しました。



#### ■1年7組 菊地 優衣(五城中出身)

波高標識を設置する際には、道路側と歩道側の高さがずれないようにするのが難しかったです。今回設置した波高標識が、誰かの震災を知り、災害について学びきっかけになればいいなと思いました。また、多賀城巡検のときには行けなかった避難道路も歩かせていただき、道路の構造や災害時の避難経路などを実際に見て知ることができました。

一緒に標識を設置して下さった区長さんは、2回も津波を経験しており、そのお話を聞くことができました。区長さんたちのように、ここで起きた災害を知らない人や将来のために、震災を経験した私たちが今できることを積極的に行っていききたいと思いました。